

【議会報告会】

○治山森林関係事業における危険木の伐採について、自治会や個人で伐採しているものも補助の対象となることはあるのか。

⇒議員 「危険木等除去等支援事業費補助金」の対象となる可能性があり、実際に補助を受けている自治会もあるので、まずは相談してほしい。直接の担当は商工農水部だが、地区市民センターで相談していただければ適切な案内が受けられる。

○近年は異常気象も多く、設備等も改修時期を迎えており農業者の負担は増えているにも関わらず、四日市市が農業分野にかかる予算は少なすぎるのではないかと。商工業ばかりを重視し農業を縮小していくような方針に疑問を感じる。

⇒議員 議会としても本市の農業の今後については憂慮している。現場からの声をしっかりと伝えていくことが重要であり、今回いただいた意見も貴重な現場の声として担当部局に伝え、今後の議会での議論にも生かしていく。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：四日市市の農業について》

○前述のような市民からの要望に対して、議会や行政から確実なフィードバックが欲しい。

⇒議員 いただいた要望を必ず実現すると約束することは難しいが、担当部局を交えた議論の上、検討状況をしっかりと伝えられるよう努める。

○農地を持っており、「人・農地プラン」についてのアンケートに回答したが、その後の地域の話し合い等の状況について自身の耳には何も入ってこないまま結果の公表に至っている。この点についても情報をオープンにしたり、フィードバックすることが必要ではないか。

⇒議員 個々の農家の意見を蔑ろにすることのないよう、また、要望への対応状況や誰がいつどこでどのような議論をしたのかについてしっかりと情報共有が図られるよう担当部局に伝える。

○市が公開している「四日市市農林水産業の概要」について、2015年農林業センサスから統計データを引用しているが、かなり古い情報であり、農業をめぐる現状が目まぐるしく変化する中で実態に即しておらず、意識が低いのではないかと。

⇒議員 情報の収集を怠ることなく、実態を把握したうえで施策を行うよう担当部局に伝える。

○四日市市の農地政策について、総合計画においては都市機能と自然環境の調和がうたわれているにも関わらず、力を入れてもらっておらず、少子高齢化が進む中、既存集落の維持は難しい状況となってしまうている。また、荒廃してしまっている農地周辺などは市街化調整区域における規制の緩和が必要である。農業だけの問題として施策を考えるのではなく、地域の福祉や教育、都市整備などの全体的な問題として全庁的な議論を進めてほしい。

⇒議員 そのような問題は小山田地区だけでなく、市内各地で、また全国的にも顕著になっているため、議員としても問題意識を持って取り組んでいく。

⇒議員 市街化調整区域に係る諸問題については、議員として取組の強化を市に要望することを考えており、いただいた意見もしっかりと認識しながら今後の市政に反映していくよう努める。

○市街化調整区域に関しては、地域の実態に即した施策が必要である。農用地と定められている土地も実際には不在地主が多く、小規模な農家では何も手が付けられないまま荒廃農地となり山林となり、原状回復ができなくなってしまった。そのような事態を招いてしまう前に対応ができるよう対策してほしい。

⇒議員 ご意見として承り、担当部局に伝える。地域・地区別構想によって出来たイメージを行政と住民が共有し、農地を今後に残していけるよう議員としても支援していく。

○市の取りまとめた地域・地区別構想にも、住民側からまちづくり構想として提出した意見があまり反映されていない。中でも現在は中心市街地を軸にしたまちづくりがされており、市内南北のつながりが無いという点についてはハード面の整備を含め対策を求めたい。

⇒議員 ご意見として承り、担当部局に伝える。

○富田地区市民センターで雨漏りをしているにも関わらず修繕がされないままになっており、問題ではないか。

⇒議員 ご意見として承る。

○地区市民センターは揉め事が多いため、監視カメラの台数を増やし、窓口だけでなく入り口や駐車場にも設置すべきである。。

⇒議員 ご意見として承る。